

## 巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-01-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉原, 茂孝 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00031757">http://hdl.handle.net/10470/00031757</a>

## 巻 頭 言

東医療センター小児科 教授

スギハラ シゲタカ  
杉原 茂孝

東京女子医科大学東医療センター（旧第二病院）は、昭和9年（1934年）に現在地に尾久病院として開設され、84年目を迎えている。小児科は、昭和42年（1967年）に初代部長草川三治教授のもとで始まった。平成元年（1989年）に村田光範教授が第二代小児科部長となり、平成12年（2000年）4月より、私が三代目の部長に就任している。

当科では、開局10周年に医局の記念誌「医局10年のあゆみ」と本誌臨時増刊号記念論文集の発刊を開始した。これは、「医局は責任者個人でもっているのではなくて、医局そのものが歴史を刻まなくては意味がない。」という草川三治先生のお考えに基づいている。その後も10年毎に継続され、平成19年（2007年）には医局40周年記念論文集を発行した。そして今回は、医局50周年の記念論文集となった。

この10年間に当科では多くの学会発表と論文を出すことができた。その内容については、50周年記念誌（10年のあゆみV）を参照していただきたい。今回は、未発表のものを50周年記念に合わせ医局員がまとめたものである。総説8編、原著4編、報告8編の計20編を集めることができ、論文集の体裁をなすことができている。医局員の他にも、ますますご活躍中の村田光範名誉教授と新生児科長谷川久弥教授に総説をご執筆いただいた。論文の内容は、内分泌・代謝、成長、感染、アレルギー、呼吸器、血液、免疫、神経、循環器（川崎病）、腎、と多分野にわたっている。

新たな専門医制度が始まり、当科は小児科専門医研修基幹施設としてのプログラムを開始している。当科では小児のcommon diseaseから希少疾患の専門診療まで、また救急医療から予防医学まで幅広く行っており、この多様性が当科のidentity（同一性、独自性）を成すものと考えている。この論文集に目を通していただければ、この点をご理解いただけると考える。

この記念論文集の編集に際し、東京女子医科大学学会の多くの先生方に査読をしていただき、論文に磨きをかけていただいた。最後に、今回貴重な時間を私どもの論文の査読に割いてくださった諸先生方にお礼申し上げます。